



空が澄み清々しい秋を感じる頃となりました。今月号も最新トピックスをお届けします。

## 国内動向▶▶▶▶▶

### ① 労働安全衛生規則に基づく化学物質の管理に関する講習等の適用について（厚生労働省）

労働安全衛生規則等の改正に伴い、事業場における化学物質管理者講習の内容及び事業場外の化学物質管理専門家に対する要件が告示された。化学物質管理者講習の講義及び実習の内容等が定められており、講習告示は令和6年4月1日から、専門家告示は令和5年4月1日から（一部令和6年4月1日から）適用される。

[もっと詳しく☞](#) [厚生労働省（令和4年9月7日付け基発0907第1号）（PDF）](#)

### ② 令和5年度新規化学物質の製造・輸入届出等の日程を公表（厚生労働省・経済産業省・環境省）

化審法に基づく令和5年度新規化学物質の製造・輸入届出に係る日程が公開された。届出等を予定している場合は、予め届出等の登録を行った上で予備審査用資料を提出する必要がある。

[もっと詳しく☞](#) [経済産業省（令和5年新規化学物質の製造・輸入届出等に係る日程について（お知らせ））（PDF）](#)

### ③ 第1回化学物質管理に係る専門家検討会の開催（厚生労働省）

令和4年9月1日、第1回化学物質管理に係る専門家検討会が開催された。本会合では、労働安全衛生法の新たな化学物質規制に基づき、労働者の化学物質のばく露に対する濃度基準値の設定等に関する検討が行われた。

[もっと詳しく☞](#) [厚生労働省（第1回化学物質管理に係る専門家検討会 資料）](#)

### ④ 職場の化学物質管理に関するポータルサイトを公開（JNIOOSH）

（独）労働安全衛生総合研究所（JNIOOSH）は、労働安全衛生法の関連政省令改正による職場での化学物質管理の変更点やスケジュールを取りまとめたポータルサイトを開設した。事業所における化学物質管理体制の整備に関する資料等について今後公開される予定である。

[もっと詳しく☞](#) [JNIOOSH（職場の化学物質管理が変わります）](#)

## 海外動向▶▶▶▶▶

### ① REACH 規則の高懸念物質（SVHC）として9物質群を提案（ECHA）

ECHAは、認可対象候補リスト（Candidate List）に追加される高懸念物質（SVHC）として新たに9物質群を提案し、意見募集を開始した（10月17日まで）。

[もっと詳しく☞](#) [ECHA（Have your say: Nine proposals to identify new substances of very high concern）](#)

### ② 製品中マイクロプラスチックを制限する REACH 規則案を公表（欧州委員会）

欧州委員会は、製品中のマイクロプラスチックを規制するため、REACH規則の附属書XVII（制限対象物質）を修正する委員会規則案を公表した。

[もっと詳しく☞](#) [EC（DOCUMENT INFORMATION）](#)

### ③ CERCLA の有害物質として PFOA 及び PFOS を指定する規則案を公表（米国 EPA）

米国EPAは、包括的環境対策・補償・責任法（CERCLA）に基づき、ペルフルオロオクタン酸（PFOA）及びペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）とその塩及び構造異性体を有害物質として指定する規則案を官報公示し、意見募集を開始した（11月7日まで）。

[もっと詳しく☞](#) [FEDERAL REGISTER（Designation of PFOA and PFOS as CERCLA Hazardous Substances）](#)

### ④ CLP 規則改正に向けた意見募集（欧州委員会）

欧州委員会は、CLP規則に新たな有害性項目を追加するための意見募集を開始した（10月18日まで）。新たな項目として、ヒト健康及び環境への内分泌かく乱作用、PBT/vPvB及びPMT/vPvMが提案されている。

[もっと詳しく☞](#) [EC（Introducing new hazard classes-CLP revision）](#)

# ケミカルマテリアルJapan 2022 -ONLINE-

## 第8回 化学物質管理ミーティング出展

化学物質管理に関する国内唯一の展示会である「化学物質管理ミーティング」(主催：化学工業日報社、<https://www.chemmate.jp/>)が今年もオンラインで開催されます。開催期間は2022年10月17日(月)～10月28日(金)です。

CERIは今年も「**化学物質管理をまるごとサポート**」をテーマに、試験・分析の実施から化審法申請、SDS作成や製品リスク評価、(Q)SARを用いた毒性予測に至るまで、お客様の製品及びブランドへの付加価値を重視したメニューを提供しています。

Web上の展示ブースでは、化学物質管理に関する各種受託試験・評価メニューの説明をご覧いただけるほか、資料のダウンロードも可能です。

### ◇ ご案内メニュー一覧

#### ◆製品リスク評価

製剤中化学物質のばく露・リスク評価、皮膚感作性物質の定量リスク評価にも対応

#### ◆SDS作成

化管法・安衛法改正に対応したSDS/ラベル作成、製品のGHS分類のための試験に対応

#### ◆(Q)SARを用いた毒性予測

予測手法を用いた評価で新規化学物質のスクリーニング等を支援

#### ◆プラスチック等の生分解性試験、動物実験代替法試験、皮膚感作性試験

様々な試験法から最適な試験設計をご提案

#### ◆規制対象物質・PFAS等の分析

製剤中PFCA、PFOA/PFOS及びPFOA関連物質等の各種分析に対応

#### ◆化審法申請トータルサポート

安全性試験の実施から申請までサポート



関係職員一同、  
皆様のご参加を  
お待ちしております！

### お知らせ

#### ○ CERI寄付講座のご案内

令和4年度後期CERI寄付講座が九州大学及び東京工業大学で開催されます。化学物質の安全性やリスク評価に関する内容もございますので、是非ご受講ください。スケジュール等の詳細は各HPでご確認ください(東京工業大学の講座は今後情報公開予定)。

☞ 九州大学「先端材料科学～設計、構造・物性から機能化まで～」(10月8日開講)

☞ 東京工業大学「ゴム・プラスチックの安全、安心～身の回りから最新の話題まで～」(11月19日開講予定)

ご質問等ございましたら、以下の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

**CERI** 一般財団法人 化学物質評価研究機構  
Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

安全性評価技術研究所 評価事業部

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-25 日教販ビル 7F

Tel: 03-5804-6136 (担当：茅島、佐野)

URL: <https://www.cerij.or.jp> E-mail: [cac-reach@ceri.jp](mailto:cac-reach@ceri.jp)